

市内事業者の皆様へ

夏季のVOC排出削減に御協力をお願いします！

(VOCとは塗料・インキ・洗浄剂等、溶剤中に含まれる成分です。)

夏場は気温が高く、
特に有機溶剤が蒸発しやすい環境です。

千葉市では、夏季(6~9月)におけるVOC対策を強化して実施しています。こまめなフタ閉め等、下記の基本的な対策から今一度見直してください。ご協力をよろしくお願いいたします(夏季に実施する理由は裏面をご参照ください。)

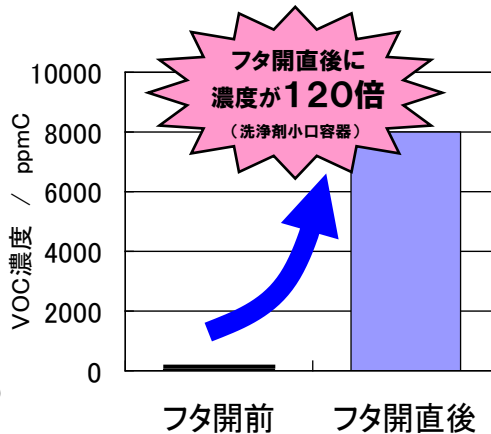
なお、本取組は、九都県市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市)で連携して実施しています。

メリット ムダな蒸発を防いで原材料費削減

溶剤の蒸気



(赤外線センサーでフタ開放時の一斗缶撮影)



フタを開放しているだけで溶剤は蒸発しています！

必要なとき以外はフタをしっかり閉めましょう。



洗浄槽のフタ閉め！

洗浄槽のフタをすると蒸発量が1/2~1/4程度まで減ります。(東京都VOC対策ガイド(工場内編)より)



容器のフタ閉め！

フタ開放で8時間に60gの溶剤が蒸発します。(日本印刷産業連合会 印刷産業におけるVOC排出抑制自主的取組推進マニュアルより)

メリット においが減ります！作業環境の改善

廃棄物容器の密閉

溶剤の染み込んだ廃棄物は常に密閉しましょう。「VOC拡散防止のため必ずフタをすること」等の張り紙をすることでより効果的です。



低VOC製品を選びましょう

《印刷》低VOC洗浄



印刷業界の制度であるG P資機材

認定制度では、低VOC洗浄剤等環境に配慮した資機材を登録しています。

《塗装》ハイソリッド塗料

既存設備の大幅な変更をせず、VOC排出量を3~6割程度まで抑制できます。

《めっき・金属表面洗浄》水系洗浄剤

めっき品質に必要な部品洗浄度の基準を見直し、水系洗浄剤へ代替することで、VOC排出量を5割以上抑制できます。

なぜ、VOC 対策が必要なのか？

VOC※¹(有機溶剤など)は、
有害な**光化学オキシダント**の
生成原因の一つです。

※¹ Volatile Organic Compounds
(揮発性有機化合物)



《光化学オキシダントの生成》



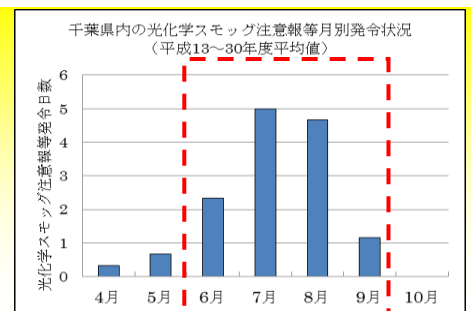
VOCには、塗料やインキに使われるトルエン、金属や機器の洗浄に使われるトリクレン(トリクロロエチレン)、塩化メチレン(ジクロロメタン)等があります。VOCは蒸発しやすく、大気中に出ていくとNO_xとともに太陽光を受けて光化学オキシダントを生成します。光化学オキシダントは、目や喉への刺激等の人的被害だけでなく、農作物等の植物被害も引き起こします。

VOCは他に浮遊粒子状物質(SPM)、微小粒子状物質(PM_{2.5})の生成原因にもなります。

夏季におけるVOC 排出削減の重要性

光化学スモッグ注意報※²は
夏季に多く発令されます。

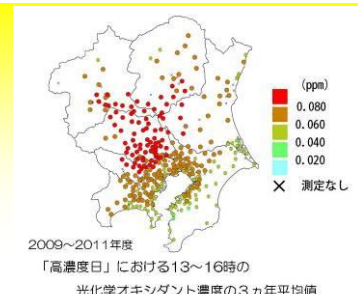
※² 光化学オキシダントが高濃度(120 ppb以上)となり、その継続が見込まれる場合に発令



光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件は、①最高気温が25℃以上 ②日照があること ③弱風が継続すること、等があります。これらの条件が揃う、夏季にVOCの排出を抑えることは特に重要です。

夏季における光化学オキシダントは、

広い範囲で**高濃度**になります。



高濃度の光化学オキシダントが広い範囲で発生することから、九都県市で連携して、夏季のVOC排出削減に取り組んでいます(平成24年度から実施)。

千葉市環境局環境保全部環境規制課大気班

【住所】 〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1 本庁舎4階

【電話】 043-245-5189 【FAX】 043-245-5581 【E-mail】 kankyokisei.ENP@city.chiba.lg.jp

【HP】 <http://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/kankyokisei/index.html>